

第18回



ファインバブル国際シンポジウム

～ファインバブルの未来～

日時

2022年

12月21日 水 10:00-17:00 (受付09:30～)

会場：慶應義塾大学 三田キャンパス 北館ホール
東京都港区三田2-15-45

<https://www.keio.ac.jp/ja/maps/mita.html>

2022年12月26日(月)
～2023年1月13日(金)
シンポジウム動画配信
予定

【大学・研究機関講演】

専門家、企業、学生による
ファインバブル技術応用分野の
研究成果、最新動向の紹介

企業展示機器/応用実演

FBIA ONLINE EXPO

併設開催 (無償)

<https://expo.fbja.or.jp/>

【講演】

・基調講演「クリーン空気ウルトラファインバブル水の貯蔵・希釈・輸送・除去」
寺坂宏一 (慶應義塾大学)

・講演①「FB技術と標準化の10年の歴史と今後の展望」
綾 信博 (産業技術総合研究所)

・講演②「ファインバブル有機化学：
10年間でできるようになったこと」
間瀬暢之 (静岡大学)

・講演③「人々や社会のウェルビーイング向上に貢献する
ファインバブル技術」
藤田俊弘 (IDEC)

・講演④ “Ultrafine bubble technology applications in
environmental remediation and agriculture”
Samir Kumar Khanal, (ハワイ大学)

・講演⑤ “Introduction to Enhanced Dissolved Air
Flotation (DAF) process for water treatment”
Dr. Hyounghun KIM, Irehenvit Corp. (Korea)

- ・各展示企業より応用実演紹介
- ・企業、学生による最新研究結果発表

言語：日本語/英語 (同時通訳無し)
主催：(一社)ファインバブル産業会 (FBIA)
協賛：ファインバブル学会連合 (FBU)

後援：株式会社日刊工業新聞社・農林水産・食品産業ファインバブル研究開発プラットフォーム (FBPAF)

申込先

(参加費)
お問い合わせ

申込フォーム：<https://forms.gle/YPVYaGNh9PpFqRAf9>

正会員 (1名無料、2名以降4,000円/人)、賛助会員 (4,000円/人)

一般 (8,000円/人)

※クレジット決済限定 (銀行振込希望の場合はご相談ください)

※参加費には動画配信 (2022年12月26日(月)～2023年1月13日(金)) 視聴も含まれます。

動画視聴の際にはFBIA ONLINE EXPOへの来場登録 (無償) が必要となります。<https://expo.fbja.or.jp/>



一般社団法人ファインバブル産業会 事務局 原田
〒105-0013 東京都港区浜松町2-2-15 浜松町ゼナラルビル4F
TEL：03-6432-4242 E-mail：event@fbja.or.jp

■プログラム（敬称略）※都合により、講演題目・プログラム内容が変更される場合がございますのでご了承下さい。

時間				内容	
10:00	－	10:05	05分	開会挨拶	筧 伸雄 FBIA監事/マーケティング委員会委員長、ヤマト科学株式会社
10:05	－	10:10	05分	来賓挨拶	Dr. Stephen WARD-SMITH Chair for ISO/TC 281 Fine Bubble Technology
10:10	－	11:00	50分	基調講演 「クリーン空気ウルトラファインバブル水の貯蔵・希釈・輸送・除去」	寺坂 宏一 FBIA理事、 慶應義塾大学 理工学部応用化学科 教授
11:00	－	11:30	30分	講演① 「FB技術と標準化の10年の歴史と今後の展望」	綾 信博 ISO/TC 281（ファインバブルテクノロジー） 委員会マネージャー （国研）産業技術総合研究所 イノベーション推進本部 上席イノベーションコーディネータ
11:30	－	12:40	70分	休憩	
12:40	－	13:10	30分	講演②「ファインバブル有機化学：10年間でできるようになったこと」	間瀬 暢之 静岡大学グリーン科学技術研究所
13:10	－	13:40	30分	講演③ 「人々や社会のウェルビーイング向上に貢献するファインバブル技術」	藤田 俊弘 FBIA副会長、 IDEC株式会社 常務執行役員 技術経営担当
13:40	－	14:10	30分	会員企業実演（機器展示）	IDEC（coolant GaLF FZ1C-GS） イズミテック（UFB受託測定） MTG（シャワーヘッド） サイエンス（サイエンス製品体感機） シバタ（UFB発生装置「シバタエンジン」） 島津製作所（UFB計測装置） 西日本高速道路エンジニアリング関西（UFB生成装置BUVITT） ハタノ製作所（ウルトラファインバブルアダプター ウルプロZ） 丸山製作所（シャワーヘッド、除塩洗浄機） ワイビーエム（ファビー-10（FJN-15I-ND4Z）） 日本タングステン（FB-ASSIST）
14:10	－	14:20	10分	休憩	
14:20	－	14:50	30分	講演④ “Ultrafine bubble technology applications in environmental remediation and agriculture”	Samir Kumar Khanal, Ph.D., P.E. Professor of Environmental Engineering Dept. of Molecular Biosciences and Bioengineering University of Hawaii at Manoa
14:50	－	15:20	30分	講演⑤“Introduction to Enhanced Dissolved Air Floatation (DAF) process for water treatment”	Dr. Hyoungjun KIM, Irehenvit Corp. (Korea)
15:20	－	15:50	30分	会員企業（最新研究結果の発表）	・「FB発生により、ろ材表面を清浄に保つろ過装置」（小林豊/広洋技研） ・「高速AFM技術を用いたウルトラファインバブル測定システムの開発」（中塚 涼/生体分子計測研究所） ・「超微細孔方式によるファインバブルクーラントを用いた高能率研削」（渡辺剛/日本タングステン）
15:50	－	16:05	15分	FBIA認証登録制度	上戸亮 FBIA事務局長/認証担当
16:05	－	16:15	10分	休憩	
16:15	－	16:55	40分	学生（最新研究結果の発表）	・“Harnessing Ultrafine Bubble Technology to Alleviate Oxygen Deficiencies in Production of Schizochytrium Biomass” Ty Shitanaka University of Hawaii ・“Ultrafine bubble generation and characterization” Lisa Lowe University of Hawaii ・「ソノルミネッセンスを指標としたウルトラファインバブルの評価」（森下海都/高知高専 専攻科 ソーシャルデザイン工学専攻1年生） ・「ウルトラファインバブルと超音波による高純度な貴金属複合ナノ粒子の粒子径制御合成」（岩田卓弥/名古屋大学大学院化学システム工学専攻）
16:55	－	17:00	05分	閉会挨拶	荒木 和成 FBIAマーケティング委員会副委員長